

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 136 1月号

2017年1月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

## 読書と私 No.127

### 「図書館は私の指南役」

御津町 塩木 京子

いつまでも「初々しく暮らしたい」と思い、シンプルな生活に向けてリタイア後の暮らしを再構築、一番場所を取っていた本を整理した。すっきりしたが、分からないこと・知らないことが多く、好奇心と前向きな気持ちで過ごしたい私にとって、どれほど図書館で助けられたことか。自由に閲覧できるおかげで、自信になり、元気にしてくれる大切な場所、椅子に腰かけ読みふける時間も楽しいこと。知りたいことがすぐそこに有り、親切な職員の方に教えてもらい、探してもらい、他所から取り寄せてもらい、帰りは満足して足取りも軽い。

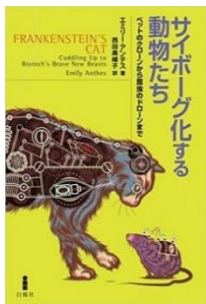
旅好きな私にとっては、日本国内世界各国の旅行が、ガイドブックからその土地にまつわる読み物、研究書、雑誌、観光に関する本を読むと即わかる。ページをめくるたびに、旅する楽しさが湧いてきて、知らない土地へと誘われて、旅の気分が味わえる。旅先が決まったり、どこへ行こうかと迷ったときのヒントが得られる。色々な資料に触れることで、夢に描いていた旅が実現すると一段と嬉しいもの。

また、健康については趣味が少ないと長い老後は乗り切れないと聞く。そのため、脳、顔、手足を動かす何かを探しに、“知恵の宝庫”図書館へ行ってみた。期待どおり借りることができ、今も毎日気分にあったものを楽しみ、健康維持で自分の時間をよりよく使っている。図書館は私の指南役。職員の皆さんにお世話になりながら、いつまでも通いたい場所です。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『サイボーグ化する動物たちーペットのクローンから昆虫のドローンまで』 エミリー・アンテス 著 白揚社



近年、バイオテクノロジーや電子工学分野の研究は目を見張るものがある。科学ジャーナリストである著者は、研究室からペットショップまで実際に訪ね歩き、新たに生み出された動物たちとその技術

の実態に迫る。

1950年代にDNAの二重らせん構造が明らかになると、一つの種から別の種へ遺伝子を移し替える研究が始まった。米国のマレーは、下痢性の疾患で命を落としている200万人以上の子どもたちのために、人間の母乳に多く含まれるリゾチームという免疫酵素の遺伝子をヤギの受精卵に注入し、命を救うミルクを出すヤギを作り出した。また、別の科学者は、ブタの心臓弁を人へ移植する際の免疫反応を抑えるために遺伝子を組み換える方法を発見した。その細胞から愛するペットのクローンを作り出し、マンモ

スを蘇らせる取り組みが始まった。だが、これらの技術は動物愛護や人間の尊厳、人権にかかわる倫理的問題を含んでいて、否定的な意見も少なくない。昆虫に電極を差し込み、意のままに操ることが技術的に可能でも、倫理的な側面から考える必要があるだろう。

科学技術の進歩は人間と動物の関係を変化させ、タグを装着したゾウアザラシが水深1600mの南極海の水温や塩分濃度などのデータを集めてくれる「同僚」となり、イルカに人工尾びれを装着するために開発された技術が人間にも応用された。

著者は、バイオテクノロジーは単なる技術であり、それをどう利用するかは私たちの選択にゆだねられていると述べる。人間と動物の双方が利益を得る方法を模索しつづけることで、共に進化することができる未来があると感じさせてくれる1冊である。

(新宮図書館 藤川)

トピックス

明けましておめでとございます

今年も図書館のイベントをお楽しみ下さい

※申込、問い合わせは各図書館まで

新宮図書館

ポンポンはいねずみを作ろう

毛糸を巻いてポンポンを作り、ニードルで顔を整えます。かわいいマスコットを作りませんか？

- 【日時】1月22日(日) 13時30分～15時30分
- 【場所】新宮図書館 研修室
- 【対象】小学校4年生以上、一般
- 【定員】20名(要申込・先着順)
- 【持ち物】ニードル、よく切れるハサミ、30cm位の空き箱
- 【申込】新宮図書館(電話可)

揖保川図書館

野鳥教室

野鳥についての説明を聞き、渡り鳥や野鳥を観察します。

- 【講師】圓尾 哲也氏(西播愛鳥会会長)
- 【日時】1月22日(日) 午前10時～12時
- 【場所】アクアホール 3階 研修室・せせらぎ公園
- 【対象】小学生以上、一般 ※小学3年生以下は保護者同伴
- 【定員】25名(要申込・先着順)
- 【持ち物】筆記用具・防寒着 ※あれば双眼鏡・鳥類図鑑
- 【申込】揖保川図書館(電話可)

龍野図書館

読書講演会

明治の文豪、漱石の作品に込められた思いや人柄に触れてみませんか。夏目漱石没後100年(平成28年)、生誕150年(平成29年)を記念して講演会を開催します。

第1回「漱石の心が語りかけるもの  
ー没後百年、なお生ける漱石」

- 【講師】岡田 勝明氏(姫路独協大学教授)
- 【日時】2月18日(土) 14時～16時

第2回「手紙で読み解く夏目漱石と  
播磨ゆかりのひとびととの交流」

- 【講師】竹廣 裕子氏(姫路文学館学芸員)
- 【日時】2月25日(土) 14時～16時

【定員】各50名(要申込・先着順) 【場所】龍野図書館 研修室 【申込】龍野図書館(電話可)

## おすすめする子どもの本・126

### 『ぞうのホートンたまごをかえす』

ドクター＝スース さく・え しらき しげる やく 偕成社

ぞうのホートンはなまけ鳥のメイジーに、たまごを温めるのを少し代わってほしいと頼まれます。ホートンは、木に登ってたまごの上に座り、冬が来て鼻と足につららができて、森の仲間にかかわられても、じーっと温め続けました。けれども、飛んで行ったメイジーは海岸でひなたぼっこを楽しみ、帰ってきません。

ある時、3人の猟師がやってきて、ホートンに銃を向けました。それでも堂々として逃げ出さず、木のとっぺんにとまっているホートンを見て3人は「こりゃふしぎだ」と、木にぞうとたまごと巣を

のせたままサーカスに売りました。

町から町へ引き回されるうち、ホートンのいるサーカスはずっと南の海岸へ行きました。そこへ、のうのうとサーカスを見にやってきたのは、なんとメイジーでした。ホートンが何か言おうとしたその時、357日間温め続けたたまごががりがりとしごい音をたてました。その割れる音を聞いたメイジーは、たまごを取り返したくなりましたが、生まれてきた姿を見ると、とても取り返すことはできませんでした。

白黒に赤と緑の彩色で、ダイナミックに、表情豊かに動物たちが描かれています。正直者のホートンがたまごを温め続けて生まれた、あっと驚くひなの姿は、ユーモラスで、確かにホートンのものだと納得するラストは満足感があります。読んであげるなら5歳くらいから。(揖保川図書館 菅尾)

---

### 『鏡の国のアリス』 ルイス・キャロル 作 生野 幸吉 訳 福音館書店

アリスは子ネコのキティを抱きあげ、鏡にうつしながら話しかけていました。「あの鏡の家のなかでくらすのはどう、キティー？ねえ、あのなかへはいる道があるんだと思いませんか？」すると、鏡は明るい銀色のもやみたいにとけ、アリスは鏡を通り抜けていました。

鏡の向うは、あべこべの世界。ここでは行きたい場所には反対向きに歩かないと行き着けず、急ぎたければゆっくり歩き、ケーキは配ってから切るといふ具合です。

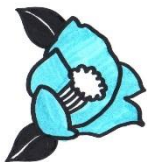
アリスはわらべ歌にでてくるハンプティ・ダンプティや一角獣、なぞなぞの好きな蚊、花壇の土が柔らかすぎるので眠ってしまう花など、奇妙な人物や動物に次々に出会っておかしな問答をくり返します。

この鏡の国の住人は、チェスのこま達で、チェス盤を形どった国の中をアリスは“歩ごま”になって“女王”への道をたどって

いきます。

ファンタジーの古典である『ふしぎの国のアリス』の続編。ちぐはぐな会話やつじつまの合わない出来事ばかりの「鏡」の世界は独創的なユーモアにあふれ、日常の既成概念にとらわれない不思議な魅力にみちています。小学校4年生くらいから。

(御津図書館 岡村)



# 1月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

## ★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

### 龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

14日(土)・21日(土) 11時～11時20分  
『ゆきのひのうさこちゃん』他

### 新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

16日(月)・22日(日)・30日(月) 11時～11時20分  
『カレーライス』他

### 揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者

7日(土)・14日(土)・21日(土) 11時～11時20分  
『もこもこもこ』他

### 御津図書館

#### 【対象】1～4歳児、保護者

8日(日)・15日(日)  
11時～11時20分  
『てぶくろ』他

#### 【対象】5歳児～

8日(日)・15日(日)  
11時30分～11時50分  
『ぞうのババール』他

## ★ おはなしのじかん【対象：5歳以上】・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌、語りなど

### 新宮図書館

7日(土)・14日(土)・21日(土)・28日(土)  
10時15分～10時45分「北風をたずねていった男の子」他

### 揖保川図書館

7日(土)・14日(土)・21日(土)  
11時～11時30分「ねずみきょう」他

## ★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

### 龍野図書館

13(金) 10時～11時30分  
総会

### 揖保川図書館

20日(金) 10時～12時  
『雪原に朝陽さして』  
曾野綾子・高橋重幸 著

### 御津図書館

18日(水)  
13時30分～15時30分  
『百鬼園随筆』内田百閒 著

## ★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

### 龍野図書館

12日(木) 10時～11時30分  
『大どろぼうホツェンプロッツ』  
オトフリート・プロイスラー 著

## ★ 古文書を読む会【対象：一般】

### 御津図書館

14日(土) 13時30分～15時30分  
古文書の解説

## 館内特集・展示 (一部紹介)

### 龍野図書館

#### 和に親しむ

古くから受け継がれてきた日本の伝統文化。和食、茶道、年中行事、古典文学など日本文化の良さが感じられる本を集めました。

【期間】1月29日まで

### 新宮図書館

#### ミニチュアの古民家とからくり人形展

手作りのミニチュアとともに、制作時に参考にされた懐かしい昭和の暮らしを紹介した本を展示し、下記日程にてお話を伺います。

【制作】瀧本 敬造氏  
西角 知明氏  
(ともに市内在住)

【日時】1月14日(土)  
10時30分～11時30分

【期間】1月23日まで

### 揖保川図書館

#### 凧でお年賀

新春らしい三番叟や役者絵・美人画を描いた凧を展示します。

【制作】高岬 仁氏

【期間】1月29日まで

#### 「とり」とりどり

鳥・酉・鶏・・・子どもから大人まで楽しめる本を揃えています。

【期間】1月29日まで

### 御津図書館

#### 雑誌リサイクル

御津図書館所蔵の雑誌のうち、保存期間が過ぎたものを無償提供します。

1人10冊まで、先着順です。掘り出し物があるかも!?

【期間】1月14日から  
(なくなり次第終了)